

授業科目

高齢期障害作業療法学演習

担当教員名 能村 友紀	対象学年	3	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	○	◎

授業の概要

1. 高齢者に対する作業療法の対象者特性を理解する
2. 高齢者に対する作業療法介入に必要な基礎知識・技術を習得する

授業の目的

高齢期障害のある対象者に対する作業療法を実践できるために、作業療法の援助法を修得する

学習目標

1. 高齢者に対する作業療法の役割とプロセスを説明できる
2. 高齢期の作業療法の援助技術について説明できる
3. 個別・集団における作業療法プログラムが立案、実施することができる

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	高齢者に対する作業療法援助	講義	能村 友紀
2	高齢者に対する身体活動（1）	演習	能村 友紀
3	高齢者に対する身体活動（2）	演習	能村 友紀
4	高齢者に対する身体活動（3）	演習	能村 友紀
5	高齢者に対する身体活動（4）	演習	能村 友紀
6	高齢者に対する作業活動（1）	演習	能村 友紀
7	高齢者に対する作業活動（2）	演習	能村 友紀
8	高齢者に対する作業活動（3）	演習	能村 友紀
9	高齢者に対する作業活動（4）	演習	能村 友紀
10	高齢者に対する集団活動（1）	演習	能村 友紀
11	高齢者に対する集団活動（2）	演習	能村 友紀
12	高齢者に対する集団活動（3）	演習	能村 友紀
13	高齢者に対する集団活動（4）	演習	能村 友紀
14	在宅での高齢期作業療法の実際（1）	講義	大越 満
15	在宅での高齢期作業療法の実際（2）	講義	大越 満

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	高齢期作業療法学 第2版	小川恵子編	医学書院	2010年	3,990円	
その他の資料						

評価方法

レポート：80%
実技：20%

履修上の留意点

高齢期作業療法の援助法についてプログラム立案をし、実践します

オフィスアワー・連絡先

水曜日10時～13時
nomura@nuhw.ac.jp